

● 株式情報 (2025年9月30日現在)

株式の状況

- 発行可能株式総数 54,800,000株
- 発行済株式の総数 31,256,600株 (うち自己株式1,048,528株)
- 株主数 8,181名

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
- 基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 3月31日
中間配当を行う場合 9月30日
そのほか必要がある場合は、あらかじめご告知いたします。

- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社

■お問い合わせ先

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	0120-288-324 (フリーダイヤル) (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店		みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱いできませんので、ご了承ください。
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。

- 公告方法 電子公告 (<https://www.se-corp.com/ja/ir/koukoku.html>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

○ **ご報告：株主優待制度を活用した社会貢献団体への寄付について**
2025年3月期においては、選択式の優待品目のひとつとして、昨年同様「緑の募金」を通じた東日本大震災の被災地復興に向けた「使途限定募金」の寄付を設定いたしました。
その結果、多くの株主様の善意により**合計金額 49万4千円**が集まりましたので、公益社団法人国土緑化推進機構に全額寄付させていただきます。
ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

ホームページのご案内
詳細なIR情報や会社概要等については、当社ホームページをご覧ください。
<https://www.se-corp.com>

● 会社情報 (2025年9月30日現在)

- 商号 株式会社エスイー
所在地 〒163-1343
東京都新宿区西新宿六丁目5番1号 (新宿アイランドタワー)
創設 1967 (昭和42) 年8月
立 1981 (昭和56) 年12月
資本金 12億2,805万円
従業員数 単体196名、連結559名
グループ事業内容 1.建設用資機材の製造・販売
・ケーブル製品分野
・鉄鋼製品分野
・コンクリート製品分野
2.建築用資材の製造・販売
・建築金物分野
・鉄骨工事分野
3.建設コンサルタント
4.補修・補強工事
5.その他

- 関係会社 (株)アンジェロセック (連結)
A&Kホンシュウ(株) (連結)
(株)北都運輸 (連結)
エスイーリペア(株) (連結)
(株)ランドプラン (連結)
エスイー鉄建(株) (連結)
(有)日越建設コンサルタント (VJEC) (非連結、ベトナム)
(株)エスイーパワー (非連結)
協力会社 アンジェロップ (フランス)

役員

■取締役・監査役

- | | | |
|----------------|------|----|
| 代表取締役会長 執行役員会長 | 森宮 元 | 夫郎 |
| 代表取締役社長 執行役員社長 | 原田 元 | 行弘 |
| 取締役 執行役員副社長 | 申野 島 | 彦彦 |
| 取締役 常務執行役員 | 野小 市 | 真史 |
| 取締役 執行役員 | 野小 市 | 真史 |
| 取締役 執行役員 | 野小 市 | 真史 |
| 取締役 (社外取締役) | 岡平 野 | 也之 |
| 取締役 (社外取締役) | 石菅 野 | 男英 |
| 監査役 (常勤) | 菅石 野 | |
| 監査役 (社外監査役) | 菅石 野 | |
| 監査役 (社外監査役) | 菅石 野 | |

■執行役員 (取締役を兼任するものを除く)

- | | | |
|------|------|----|
| 執行役員 | 中河 村 | 一志 |
| 執行役員 | 水田 田 | 志明 |
| 執行役員 | 竹津 家 | 治児 |
| 執行役員 | 齋藤 家 | 之範 |
| 執行役員 | 大明 嶽 | 昌英 |
| 執行役員 | 中今 新 | 井英 |
| 執行役員 | 中今 新 | 井英 |

SEC 株式会社 エスイー
<https://www.se-corp.com>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

Engineering With You.



株主通信

第45期 中間期

2025年4月1日～2025年9月30日

SEC 株式会社エスイー

証券コード：3423

● 決算概要

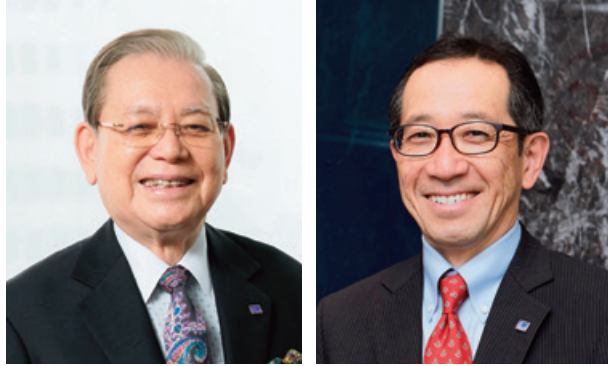
2025年度中間期 決算ハイライト

● 年間業績予想

業績予想・配当予想は変更なし

● 中期経営計画の施策の進捗状況

概ね順調



代表取締役会長
森元 峯夫

代表取締役社長
宮原 一郎

株主の皆様には平素より格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2025年度上半期の日本経済は、雇用・所得の改善やインバウンド需要、また好調な企業収益から景気の回復基調が続きましたが、物価高や関税の影響で回復の勢いに陰りが出始めました。一方、世界経済は、好調維持の米国に対し欧州・中国は減速しており、ロシア・ウクライナ紛争、中東情勢に加え、トランプ大統領の政権運営とその影響への懸念から、景気の先行きは不透明な状況が続いています。エスイーグループでは、2025年度を中期経営計画の最

終年度として、引き続き更なる先行投資をし、通期予想は連結経常利益を438百万円（前年同期比447百万円減益）としております。国土強靱化や老朽化インフラへの対応といった好事業環境があるうちに、「変化と新しい価値の創造」という経営理念のもと、更なる社会課題の解決に貢献するよう事業基盤を改変していくこととしております。

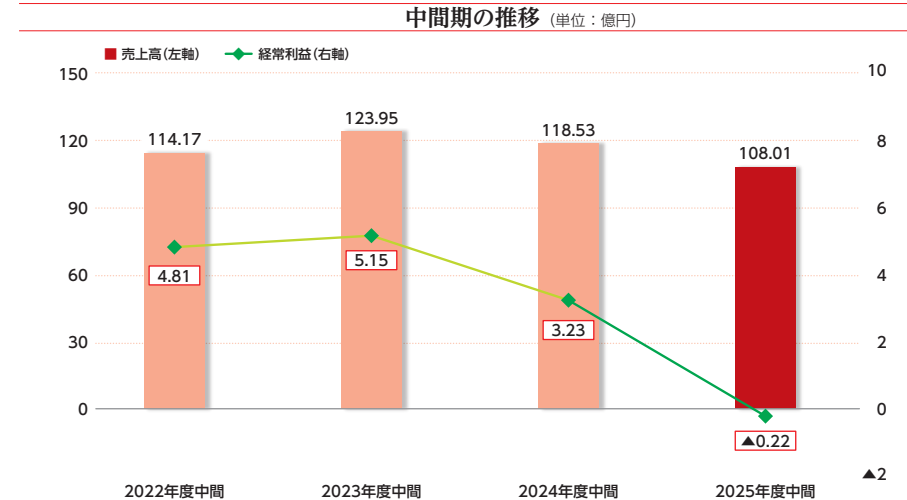
2025年度中間期の連結売上高は108億1百万円、連結経常利益は22百万円の損失となりました。建設用資機材では、大型案件の端境期が継続しており、災害復興案件では需要が減少しております。建築用資材では、酷暑に伴う労働時間の短縮・働き方改革により、施工量が減少し、現場工事の遅延が発生しております。このようななか、売上高で苦戦をしているものの、中間期の利益は予想を上回る水準でした。通期については、製品によっては懸念材料があり、現場の進捗等に依存する面が大きいです。工期回復や能登震災復興案件の本格化の期待があり、予想の達成を見込んでおります。

今年度は、次期中期経営計画を見据え、事業基盤の改革につなげる重要な年度と認識しております。株主の皆様の期待にお応えするには、まだ時間を要することとはなりますが、中長期的に企業価値向上を実現できるように取り組んでいきたいと考えております。配当については、期間の利益の影響を受けにくい株主資本配当率（DOE）を基に安定的な配当を方針としております。今後ともエスイーグループに対するご支援を賜りますようお願い申し上げます。

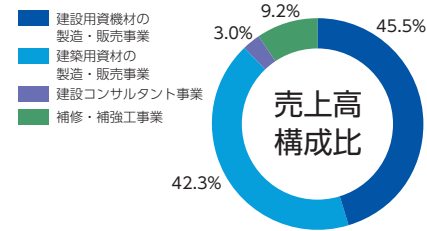
◆決算概要 ～減収減益～

- 売上高は、以下要因により前年同期比▲10.51億円の減収。
 - ・建設用資機材の製造・販売事業において、前年度下期から大型案件の端境期が継続していること。
 - ・建築用資材の製造・販売事業における工事遅延。
- 利益面では、経費削減は一定の効果は得られましたが、減収に伴う減益効果が大きく、更に研究開発部門の人工費・経費が大幅に増加（前年同期比1.94億円増加）したことにより、営業利益以下は損失を計上。

	2025年度中間期	前年同期比
連結売上高	108億1百万円	▲10億51百万円
連結営業利益	▲43百万円	▲3億32百万円
連結経常利益	▲22百万円	▲3億46百万円
親会社株主に帰属する中間純利益	▲56百万円	▲2億41百万円



エスイーグループの事業は主に4つのセグメントにより構成されています。



建設用資機材の製造・販売事業

ケーブル製品分野において、大型案件の端境期が続いていること、災害復興案件が一段落し一時的に需要が減っていることにより、減収。中期経営計画の施策推進に伴う経費は抑えられた一方で、上記減収要因により減益。

	売上高	営業利益
前中間期	57.27 億円	2.90 億円
当中間期	49.16 億円	1.49 億円

建築用資材の製造・販売事業

建築金物分野では内装関連の需要が縮小したまま回復に至らず、仮設建材関連は酷暑に伴う労働時間の短縮・働き方改革により施工量が減少。鉄骨工事分野においても、鉄骨需要が減少するなか工事進捗の遅れが継続。

	売上高	営業利益
前中間期	49.62 億円	2.83 億円
当中間期	45.61 億円	2.53 億円

建設コンサルタント事業

第1四半期は好調であったが、第2四半期に入って複数案件で工期延長が発生し、期初受注残の消化が減速。これに伴い売上高は前年同期比微減。消化案件のうち、利益率の高い案件が収益に貢献し、増益。

	売上高	営業利益
前中間期	3.31 億円	0.38 億円
当中間期	3.29 億円	0.08 億円

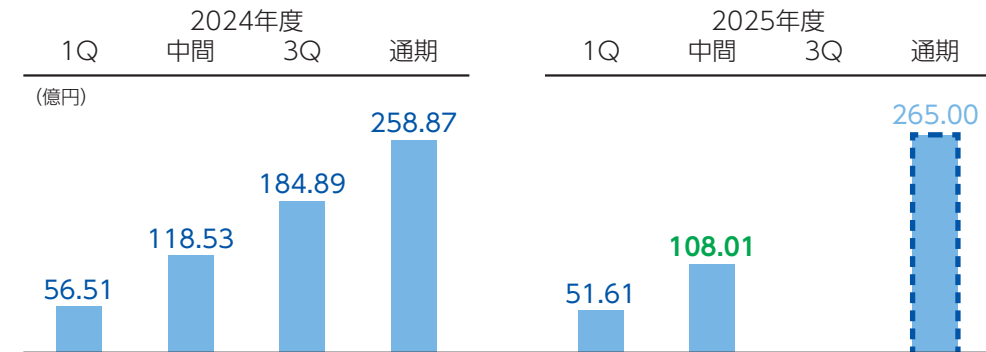
補修・補強工事業

期中受注案件増加に伴い、案件消化も増加。案件小規模化で利益率は低下したが、増収要因により若干の増益。

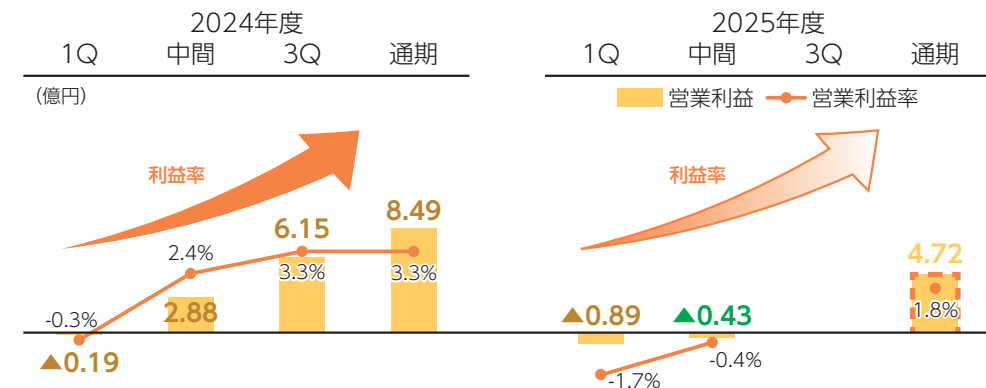
	売上高	営業利益
前中間期	8.32 億円	0.32 億円
当中間期	9.94 億円	0.32 億円

2025年度の業績予想は、2025年5月9日公表の売上高265億円、営業利益4.72億円より変更なし。
 ・工期回復や能登震災復興案件の本格化を期待するも、ESCON事業での案件獲得の遅れ等、売上高については懸念材料あり。
 ・販管費についても、今年度圧縮の余地が十分にあるため、営業利益については、公表値の達成を見込める状況。2025年度の年間配当予想は、13円/株で変更なし。

売上高 (累計)



営業利益 (累計) ・ 営業利益率



中期経営計画では、積極的な先行投資で施策を展開しております（2025年度中間期での進捗状況）。

未来に向けた種まき

発電事業 ▶ ～ 2028年度頃の事業開始を目指し、活動中

原料調達／生産発電 ベンチプラントの稼働により、実証実験データの蓄積・整理・分析が進捗。想定以上に幅広い有意義なデータの蓄積ができているが、一方で工程は当初予定より若干遅れ気味。

事業計画 事業会社設立完了。IPP事業参画の準備作業を推進中。

ESCON事業（橋梁大規模修繕関連等）▶ ～ 案件獲得には苦戦するも設計折込の成果が次年度以降に

道路橋床版 技術評価証は今年度中取得の見込み。2027年度に高速道路案件で採用の見通し。

床版継手部適用 施工マニュアル完成。今年度案件未獲得も、2026年度高速道路案件で採用が決定。

床版上面増厚 施工試験、配合パターンの調整を継続。今期案件獲得はやや厳しい状況。

BIM設計支援・BIM化業務受託 ▶ ～ 複雑かつ大規模案件に対応、人材強化も促進

既存事業領域から展開する新規事業等 ▶ ～ 慎重な見極めにより有力事業案の選定は若干の遅延

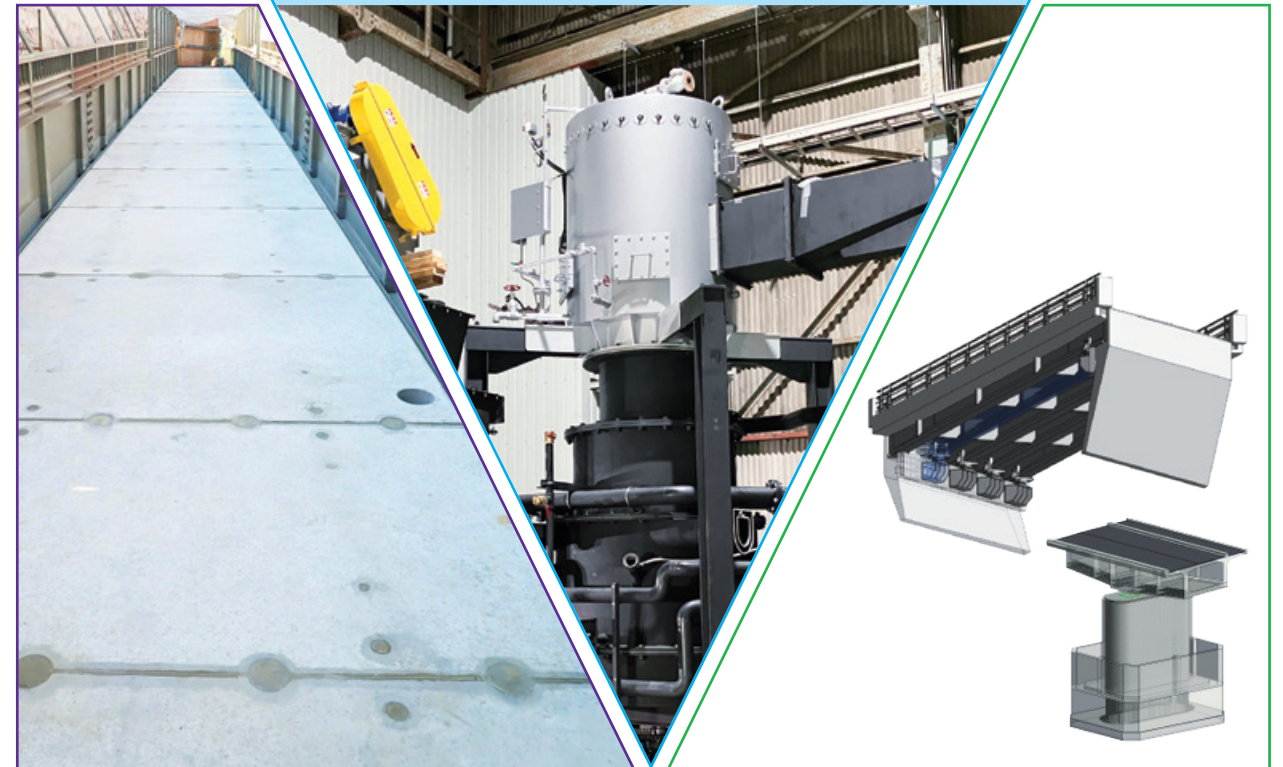
生産業務効率化 ▶ ～ 検査報告書の自動化を推進中。営業⇄生産間のシステム、ルール面を強化

人材定着等改革 ▶ ～ 新人事制度の定着、改良。若手・中間層へのフォロー体制を拡充

既存事業の土台固め

「未来に向けた種まき」の各事業をイメージしていただけるように、ビジュアルを掲載しました。

発電事業 現在、ベンチプラントで実証実験を進めています。（写真はベンチプラントのボイラーです）



ESCON事業

現場実装に向け、開発を推進しています。
（写真は、歩道床板ですが、中路式の立体横断歩道橋として初めてESCONが採用されたものです）

BIM設計支援・BIM化業務受託

高速道路や被災地の複雑かつ大規模なモデル作成も実施しております。
（上図は、高速道路にかかる橋梁の3Dモデルの例です）

中期経営計画の施策の進捗状況